

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	5	事業名	子ども・子育て支援事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	小野	連絡先	044-861-3329

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力を向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習や父親の育児参加を促進させることが必要とされている。
事業概要	①子ども・子育てに関する講座等を開催する。 ②初めての赤ちゃんを育てる母親の育児に対する不安感を軽減し、孤立感を防止し、早い時期から子育ての仲間作りができる場を提供する。 ③川崎市助産師会と連携（委託）し、初めて母親・父親になる保護者で、平日に参加できない方を対象としプレパパ・プレママ講座を実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	645,000	予算額（調整後）	636,000	決算額	557,294	不用額	78,706
不用の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・配当留保（11,000円） ・子育て支援講座が、父親が子どもと一緒に遊ぶという内容で、保育が必要なかった。 ・在庫の切手を使用したため。 ・親育ち支援事業を区役所、市民館で開催したため、会場使用料が必要なかった。 						
事業目標	子育て中の親子等が交流・学習する機会やさまざまな場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもがすこやかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子育て支援事業 父親の育児参加をテーマに講座を開催する。10月、12月、2月に月1回実施 ②親育ち支援事業 初めての赤ちゃんを育てる母親の不安や孤立感を軽減し、子育ての仲間づくりを進める。6～7月、10月、2月に各4回実施 ③プレパパ・プレママ講座 7月4日、10月3日、1月16日 年3回実施（内容：助産師による講義・リラクゼーション・懇談）						
事業目標を達成する上での課題等	子育て中の参加者獲得に向けた情報提供の方法、講座では受講者のニーズに合わせた内容と開催時期の検討。						
実績	①子ども・子育て支援講座（10月25日 14時～16時 梶ヶ谷第一公園 17名参加 「カクレル ミツケル～パパと子の自然の遊び塾～」、12月5日 10時～12時 すくらむ21 28人参加 「パパと遊ぼう」 2月13日 10時～12時 すくらむ21 17名参加 「パパと子でつくろう～パレンティンお菓子～」） ②親育ちプログラム（6月22、29日、7月6、13日 10時～12時 保健ホール 17名参加、10月2、9、16、23日 10時～12時 高津市民館 12名参加、2月1、8、15、22日 10時～12時 保健ホール 20名参加）（親子の絆作りプログラム「赤ちゃんがきた！」（参加型の4週連続講座）） ③プレパパ・プレママ講座（7月4日 13時30分～16時 保健ホール 15組参加、10月3日 13時30分～16時 保健ホール 15組参加、1月16日 13時30分～16時 保健ホール 13組参加）年3回実施 計43組が参加（委託先→川崎市助産師会）（内容：助産師による講義・リラクゼーション・懇談）						
協働の視点	地域の子育て支援関係機関・団体等と連携しながら企画し、実施においても主体性を持った参加の工夫を行った。						
環境配慮への視点	各事業において節電に努め、ゴミの持ち帰りを推奨した。資料等については再生紙を使用した。						
取組の成果	区役所及び地域の様々な場所で、子育て中の親子が交流・学習する機会を持ち、区における子ども・子育て支援を推進した。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	常にニーズの把握に努め、子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の子育て力の向上となる視点で各事業を企画・実施していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	10	事業名	子育てネットワーク推進事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	小野	連絡先	044-861-3329

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育てに対する不安や孤立した育児を防ぐために、地域の関係機関や団体等と連携し、地域とのつながりをつくる場の提供や、子ども・子育て支援のネットワークの推進を図る必要がある。
事業概要	①区内の子ども・子育てに関わる関係機関・団体等が情報交換や課題の共有等を行い、ネットワークの推進を図る。 ②幼稚園・保育園・小学校が互いの保育・教育内容について理解を深め、発達の連続性を踏まえた子どもの育ちの支援を行う。 ③転入者に対し、区内の子育て情報を提供するなどの交流会を開催する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	708,000	予算額(調整後)	658,000	決算額	566,963	不用額	91,037
不用の理由	リーフレット(もうすぐ1ねんせい)の印刷製本費の契約差金、切手代、減免会場使用による会場使用料の不用等						
事業目標	区における子ども・子育て支援を進めるために、地域の関係機関・団体等が連携し、親子の交流の場の提供や区内の子ども・子育て支援のネットワークの推進を図ることで、子育てしやすいまちづくりを目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子ども・子育てネットワーク会議 子どもに係る団体・関係機関等によるネットワーク会議及び各課題に応じた部会を開催し、情報交換や課題の共有、協議等を行う。(幹事会:年4回、本会議:年4回、情報部会:年6回、子育てグループ支援部会:年7回、研修・企画部会:年3回) ②幼・保・小連携推進事業 認可保育園、幼稚園、小学校の職員相互の理解の深化、幼児・児童の交流の推進、保育・教育内容の情報共有を図るため、園長・校長連絡会等の諸事業を実施する。(代表者連絡会:2回、園長校長連絡会:1回、実務担当者連絡会:1回(講演会含む)、小学校行事参観:15校、スタートカリキュラム参観:2校、実習研修:30園、小学校授業参観・懇談会:15校) ③転入者子育て交流会 高津区に転入した子育て親子を対象に、地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流をもてる場を提供する。(春3回、秋3回)						
事業目標を達成する上での課題等	子ども・子育てネットワーク会議の構成機関・団体等が固定化されており、委員改選等の機会を捉えてネットワークの拡大と内容の充実を図る必要がある。						
実績	①昨年度に引き続き第5期ネットワーク会議は、幹事会4回、本会議4回、情報部会6回(子育て情報ガイドブックの編集)、子育てグループ支援部会7回(子育てグループ交流会の企画実施、子育てグループの活動上の課題把握等)、研修・企画部会3回(研修会の企画実施)を開催した。 ②幼・保・小連携推進事業は、代表者連絡会2回(4月・2月)、園長・校長連絡会1回(6月 参加人数68名)、実務担当者連絡会1回(10月 参加人数66名)、実習研修(7月~9月 受入園30園。参加人数48名)、小学校行事等参観(5月~1月 15校で実施。参加人数延べ167名)、スタートカリキュラム参観(2校で実施。参加人数26名)、小学校授業参観・懇談会(10月~12月 15校で実施。参加人数は授業参観が延べ166名、懇談会が延べ241名。計407名)を実施した。 ③転入者子育て交流会は春に3回(5/28 47名参加、6/3 40名参加、6/19 64名参加) 秋に3回(10/9 39名参加、10/26 67名参加、10/28 25名参加)実施し計282名参加。						
協働の視点	区民、関係機関、団体等と協働で区内の子ども・子育て支援について協議し、各事業を協働して実施した。						
環境配慮への視点	各事業において節電に努め、ゴミの持ち帰りを推奨した。資料等については再生紙を使用した。						
取組の成果	①ネットワーク会議本会議の終了後にミニ研修会等を実施し、子育て支援の向上や情報の共有を行った。地域の関係機関や団体等との連携によるネットワークを構築しながら、各部会を中心に課題の解決等に取り組んだ。 ②幼・保・小連携推進事業により、地域の子ども・子育て関係機関や団体等との連携が強化され、連続性のある子ども・子育て支援が推進された。 ③区役所及び地域の様々な場所で、子育て中の親子や子育て支援者が交流する機会を持ち、区における子ども・子育て支援を推進した。						達成度

3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	子ども・子育てネットワーク会議については、今後のネットワークの担い手発掘に努めるとともに地域の子育て環境の変化に対応した部会のあり方等について検討し、部会の活性化を図るように努めながら継続実施していく。幼・保・小連携推進事業では、代表者会議等で情報共有を図り、相互の理解を深めながら事業推進していく。転入者交流会では、常にニーズの把握に努め、子育て当事者の子育て力の向上を図るよう努めていく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	15	事業名	子育て情報発信事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	小野	連絡先	044-861-3329

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。
事業概要	子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報をガイドブックやホームページを通じて提供し、より親子のニーズに合った情報を提供するために、子育て中の親と行政が協働して情報紙を発行する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,486,000	予算額(調整後)	1,960,000	決算額	1,849,428	不用額	110,572
不用の理由	地域子育て支援センターリーフレットの残数が多かったため、印刷製本の数減らした。郵送の一部を職員が対応したため、郵便料が少なくて済んだ。						
事業目標	子育て中の親の立場に立った、より身近な地域の子育て情報を発信することで、さまざまな子育て資源の活用を促し、子育てしやすいまちづくりを目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①子育て情報発信・地域子育て支援センターリーフレットの発行 ②地域子育て情報紙発行・「あったかつうしん」の発行 ③子育て情報ガイドブック発行・「ホッとこそだて・たかつ」の発行及びホームページの管理・運営。						
事業目標を達成する上での課題等	最新情報の取得によるホームページ更新作業の迅速化						
実績	①地域子育て支援センターリーフレット 5,000部発行 区内保育園、子育て関係機関に配布 ②子育て情報紙「あったかつうしん」を年間6回、各2,500部発行 委託先：NPO法人子育て支えあいネットワーク満 ③情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の情報を更新し、7月に8,000部発行。ホームページは随時更新 委託先：(株)共栄堂						
協働の視点	子育て中の親との協働により、より利用者の視点に立った情報紙を作成した。「ホッとこそだて・たかつ」の発行にあたっては、子育て中の親や関係機関・団体等と協働・調整を図り、利用者の立場に立った内容・構成等の改訂を行った。						
環境配慮への視点	作成に当たっては電子メール等を活用し、紙資源の節約に努めた。また、編集会議等では節電に努め、ごみの持ち帰り等を推奨した。						
取組の成果	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することで、広く情報発信・提供できた。また、問合せへの対応や区内の子育て情報(資源)を紹介する媒体として区民の理解促進・子育て不安軽減に役立てることができた。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	毎年改訂して発行している情報ガイドブックが好評なことから、今後も改訂しながら継続実施する。その中で情報の整理や新たな手法による情報提供の方法の検討も行っていく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	20	事業名	高津区こども・子育てフェスタ事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	小野	連絡先	044-861-3313

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育てのネットワークに入れず育児不安を持つ区民も多いことから、地域の子育てネットワーク参加につながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出展団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることが必要である。
事業概要	地域における子育て関係機関・団体等や区民と協働し、高津市民館全館を一日借り切って、子育て関連のイベントや子育てグループ・サークル等の紹介、親子交流の場の開催、保育園児の作品展示などを実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	500,000	予算額（調整後）	500,000	決算額	430,182	不用額	69,818
不用の理由	必要となるボランティア人数の減などによる報償費の不用、ポスター・チラシ作成委託料の契約差金						
事業目標	各種子育てグループ・子育て支援団体等の活動展示・イベント等を実施し、地域の子育て情報を提供することにより、高津区における市民と行政との協働による子どもの育ちを地域で支えるネットワークづくりの一助とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	① 地域の子育て支援機関・団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の展示、及びチラシ等による子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民等への情報提供 ② 子育て中の保護者等参加者が交流を深めることが出来る場の提供 ③ 親子で楽しめるイベントの開催						
事業目標を達成する上での課題等	連絡調整会議での意見調整、実施方法の確認等を行いながらフェスタを実施するが、今後フェスタの企画・運営が自主的に出来る実行委員会の組織化及び事務局事務を担える団体等の育成の検討が必要。						
実績	平成27年11月21日（土）に高津市民館全館を利用して第11回高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から小・中学生のこどもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などを紹介する展示、コンサートなど子ども向けの催し物や、ホールでは岡野栄之氏による「ほんとうにすごい！Ips細胞」の講演会などを開催。来場者2,300人、参加団体64団体 チラシ・ポスター製作及び会場案内、プロフィール印刷委託：日本プロセス㈱						
協働の視点	関係機関・団体等や公募委員により組織された連絡調整会議や、イベント等の参加団体と地域で子育てを支えるという共通認識にたち協働により実施した。						
環境配慮への視点	フェスタの実施においてグリーン電力を使用した。						
取組の成果	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもの参加があり、父親の参加も多くみられた。フェスタは前年まで実行委員会に委託し実施していたが、今年度は実行委員会事務局事務のあり方を検討し、連絡調整会議で関係機関等と実施方法の確認を行いながら実施した。連絡調整会議では公募委員を含め活発な意見交換がみられるとともに、各子育て団体でもフェスタでのイベントや展示の実施に向けて、自主的な活動が進められた。準備・運営の経過をとおして関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができた。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	こども・子育てフェスタは今年度で11回を迎え、認知度も高まり来場者が増え当区における子ども・子育てのイベントとして定着している。今後催しの内容や実施方法等について、引き続き見直しを行っていく。また、フェスタの企画・運営を自主的に出来る実行委員会の組織化及び事務局事務を担える団体等の育成を検討していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	35	事業名	子育てグループ等活動促進事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	小野	連絡先	044-861-3340

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	核家族化の進行や地域との関わりの希薄化などにより、子育て家庭の孤立化が進み、子育てに対する不安感や負担感が增大しているため、地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等の活動支援を行い、地域の子育て力向上を図る必要がある。
事業概要	①子育てグループ交流会の開催 ②グループ等の活動の支援のため「子育てグループ」等を対象とした貸出遊具の充実。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,064,000	予算額(調整後)	1,040,000	決算額	991,602	不用額	48,398
不用の理由	配当留保(20,000円)のほか、図書雑誌を購入しなかったため。(こども支援室の蔵書を利用した)						
事業目標	地域で孤立することなく、安心して子育てできる仕組みとして、在宅で子育てをしている保護者を対象に、同年齢の子どもを持つ母親が自主的に運営している地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等の活動支援を行い、地域の子育て力向上を図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①「子育てグループ」がその活動紹介を行い、活動を一緒に体験する「子育てグループ交流会」を年1回開催。 ②グループ等の活動を支援する貸出遊具を充実させる。 ③子育てグループ活動のアイデアを提供するため、ワークショップを年1回開催。 ④子育てグループへの参加・設立を進めるための「ホッと子育てファイル」を作成。 ⑤新たな子育てグループを発掘するための調査。						
事業目標を達成する上での課題等	子育てサロンや子育てグループを支える協力者の養成。						
実績	①「子育てグループ交流会」を平成27年9月30日(水)9時45分から12時まで高津市民館大会議室にて開催 119名参加 事業委託先「たかつの子育てを支えるなかまの会」 ② 貸出遊具を充実させた。 ③ 「ワークショップ・ミュージック」を平成28年2月27日(土)15時から16時まで高津区役所保健ホールにて開催 31名参加 事業委託先「たかつの子育てを支えるなかまの会」 ④ ホッと子育てファイルの作成 1,800部 ⑤ かわさき市民活動センターの協力を得て、新たな子育てグループを発掘した。						
協働の視点	高津区子ども子育てネットワーク会議「子育てグループ支援部会委員」、こども支援室、「子育てグループ」や「子育てサロン」の代表者が協働し、実行委員会を組織して企画・運営を行った。						
環境配慮への視点	チラシ類は再生紙を利用、事務用品は環境配慮されているエコ対象物品を購入、会議や交流会ではゴミの持ち帰りを呼びかけた。						
取組の成果	子育てグループ等を支援することにより、子育てグループへの参加や子育てサロンの利用が高まり、核家族化・地域との関わりの希薄化による子育ての負担感・不安感の軽減や、孤立した子育てを防ぐ一助となった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	在宅で子育てをしている保護者等が気軽に無理なく自由に集える子育てサロンやグループを更に広く知ってもらうため、ホームページの開設やアプリ等で情報をタイムリーに発信し、関心を高めていく。また、今年度新たに立ち上がった子育てグループを支援するためのイベントを実施すること等を目的とした実行委員会(たかつの子育てを支える仲間の会)・実行委員会組織の協力者を引き続き養成し、グループ交流会等を企画・運営していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	15	予算小事業コード	40	事業名	保育所等地域子育て支援事業		
事業所管課	こども支援室			担当者	中野	連絡先	044-861-3372

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	待機児童対策の強化に伴い、民間保育所が増加しているため、新たな公立（公営）保育所の役割として、地域の子育て支援の強化・充実、民間保育所等への支援が求められている。
事業概要	①地域の0歳～就学前の子どもと保護者を対象にした「あそんでランチ」 ②区内施設において、子どもの対象年齢ごとに親子遊びや育児相談等を年間36回実施する「あつまれキッズ」 ③地域の0歳～就学前の子どもと保護者を対象に、ふれあい遊び、人形劇、お話し等を行う「あそびの広場」。また、公営保育所に蓄積された育児ノウハウを「ひろばノート」として編集し、あそびの広場参加者や地域子育て支援センター利用者に配布。 ④公民保育所職員が公開保育等を通じて交流するとともに、専門実技研修を実施し、人材育成を図る。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,299,000	予算額（調整後）	1,265,000	決算額	1,133,423	不用額	131,577
不用の理由	配当留保（47,000円）他、事務用品等がこども支援室の在庫で間に合ったため。						
事業目標	子育てに悩む在宅の親子に対し、公立保育所が地域の拠点としてのリーダーシップをとり、地域で子育てをする保護者の保育力の向上及び、育児不安等の解消に努める。 公開保育や研修などの場を提供し、保育者のニーズに合わせた支援を行い、人材育成の充実、保育の質の向上につながる取り組みを推進する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の0歳児から就学前の親子を対象にした「あそんでランチ」を直営給食を実施する2園で14回企画 ・地域の育児力の向上のための0歳児対象の「ひよこキッズ」1コース3講座を3回、1歳児対象の「あつまれ1キッズ」9講座で1コースを区内で2か所、2・3歳児対象の「あつまれ2・3キッズ」9回講座で1コースを企画 ・民営園の職員に対し、「ひろばノート」の作成について働きかけ、子育て支援の部分を担当してもらう。 ・公営保育園職員の保育スキルやノウハウを活かし、地域のニーズに合わせた公開保育を71回企画実施 ・地域の未就学児と保護者を対象に、区内公営保育園7施設を活用したあそび体験の場「あそびの広場」事業を72回企画 						
事業目標を達成する上での課題等	株式会社の運営による民間保育所の増加に伴い、事業連携等のアプローチに工夫が必要である。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「あそんでランチ」上作延保育園・西高津保育園で年各7回実施、49組98人参加。食事付体験保育を実施し、遊びや生活体験、育児相談により、地域で子育てをする保護者の育児不安解消に繋がった。 ・あつまれキッズ…0歳児（高津市民館にて年9回実施、174人参加）1歳児（二子こども文化センターにて年9回実施、182人参加）（プラザ橋にて年9回実施、174人参加）2・3歳児（プラザ橋にて年9回実施、182人参加）年間通して親子遊びやミニ講座、情報交換、育児相談を実施し、子育て支援の充実を図った。 ・あそびの広場 区内公営保育園7箇所年65回開催、542組1027人参加。各保育園独自企画で育児講座やあそびの提供などを通じ、子どもと一緒に遊ぶ楽しさを共有し、地域の親子の仲間作りを支援した。 ・ひろばノート1500部作製・配布。民営保育園10園の協力を得ることができた。 ・公開保育 認可園延べ53園、認定園延べ38園、計200人参加 公営保育園の保育実践を公開し、学びあった。 ・専門実技研修7回延べ461人参加 保育者のスキルアップに繋がった。 						
協働の視点	「あつまれキッズ」「ひろばノート」は関係機関との連携調整を行い、事業の実施についてはスタッフとして民営園に参加してもらった。また、ボランティアスタッフ等からの意見を取り入れ事業に生かす実施した。						
環境配慮への視点	チラシ類は再生紙を利用、事務用品は環境配慮されているエコ対象物品を購入、各事業の参加者にはゴミの持ち帰りを呼びかけた。参加者の情報環境に合わせ、参加申し込みメールフォームを取り入れたことでペーパーレス化を図った。						
取組の成果	<p>「あつまれキッズ」は特に0歳児において人気が高く参加者も満足度が高いことがアンケートからうかがえた。保健福祉センター保健師・栄養士にフォローしてもらい支援を行った。公開保育は公立保育園7園で複数回、年間を通して実施。認定園、区外からの参加者も大幅に増加。実技研修は人気のある講師や乳児保育などに参加者が多く、アンケート結果も良好だった。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<p>「あそんでランチ」は地域のニーズに合わせ開催回数を2回増やす。</p> <p>「ひろばノート」はページ数を増加させ、常時携帯し複数活用してもらえるようハードカバーのファイル形式にする。幼稚園職員にも研修に参加してもらえるよう、また認定園のニーズにも合わせた保育実技研修の時期と時間、内容を検討し調整する。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	15	事業名	高津区待機児童対策推進事業		
事業所管課	児童家庭課			担当者	荒井	連絡先	044-861-3371

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	社会保障と税の一体改革に伴う、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から本格導入されることにより、市町村においても、子育て家庭のニーズに応じた子育て支援に関する情報を提供していくことが求められている。 本市においても、平成28年4月時点での「待機児童ゼロ」の達成を目指していく上で、利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。
事業概要	従前の紙媒体や市ホームページ上で提供してきた保育所に関する情報の充実を図り、個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、映像を用いた保育園案内（紹介）資料の作成、及び保育所施設マップの作成により、情報の充実化を図る。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,573,000	予算額（調整後）	1,404,000	決算額	1,404,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	利用者が個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、情報提供の充実化を図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	高津区内保育園案内映像の制作：区内認可保育園における、保育活動の様子、外観、保育方針や保育時間等の文字情報等の案内映像（90秒/園）を制作する。また、保育園案内DVDの作成、及び動画投稿サイト（YouTube市公式アカウント「川崎市チャンネル」）への投稿により情報提供を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	保育園側の協力が不可欠であることから、関係部署と連携して取組を推進していくことが必要。						
実績	1. 区内川崎認定保育園等の紹介映像作成：①認可保育園43園の紹介映像を作成 ②①のDVDを作成し庁内モニター等において放映 ③①を動画投稿サイトに投稿 ④昨年制作した川崎認定保育園（14園分）を含むDVD（チャプター付）を作製し、区内保育園及び地域子育て支援センターに配布 2. 高津区子育て施設マップの作成：区内及び近隣保育園や幼稚園等の子育て関連施設の位置を示したマップを2,000部を作製し、保育所利用案内と合わせて配布。						
協働の視点	認可保育園の協力を得ながら、映像を作製。						
環境配慮への視点	事業者等への情報提供は電子メールを活用し、コピー用紙削減に努めた。						
取組の成果	利用者への保育園に関する情報提供の充実が図られた。また、保育園側の待機児童対策等の行政の取り組みに対する理解が深まり、協力関係が構築された。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	■見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する <input type="checkbox"/>
	新規開園及び未実施の保育園（認可6園、川崎認定10園）を対象とした紹介映像を作成し、動画投稿サイトに投稿することで、更なる利用者への情報提供の充実化を図る。 また、高津区子育て施設マップの情報を更新した改訂版を作製し、保育所利用案内と合わせて配布する。